

みずしま滞在型環境学習コンソーシアム キックオフシンポジウム

～G7教育大臣会合“倉敷宣言”を踏まえてSDGsを展開する～

このたび、持続可能な地域づくりを担う人材を育成することを目的に、「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」を立ち上げます。この取組みは、将来を担う世代の学びを高梁川流域の多様な主体が支えるしくみです。ぜひご参加ください。

日時 2018年**3月29日(木)** 14:00～17:00

場所 倉敷市環境学習センター 環境学習教室 **定員** 50名
倉敷市水島東千鳥町1番50号

後援 環境省中国四国地方環境事務所、岡山県、倉敷市、岡山大学、倉敷商工会議所

スケジュール

14:00～	設立発起人会	15:45～	関係者によるリレートーク
15:00～	キックオフシンポジウム開会		テーマ:滞在型環境学習プログラムに期待すること
15:05～	基調講演1 「SDGsで拓く持続可能な地域づくり」 講師:榎野博史氏 (岡山大学学長)		発表者:①倉敷市(伊東香織氏 倉敷市長) ②JFEスチール(株)西日本製鉄所(倉敷地区) (和田尚樹氏 総務部総務室長) ③高梁川流域学校関係者 (大久保憲作氏 高梁川流域学校代表理事)
15:20～	基調講演2 「地域への想いと、将来に向けて」 講師:萩原邦章氏 (萩原工業(株)会長)		④大学など教育研究機関関係者 (三村聡氏 岡山大学 地域総合研究センター長・教授) ⑤地元関係者(尾崎浩子氏 水島おかみさん会会長) ⑥みずしま財団(塩飽敏史 みずしま財団理事・研究員)
		16:30～	質疑応答・コメント
		17:00	閉会

高梁川流域では地域の歴史や自然、文化、企業の環境対策技術などを活かした学びが始まっています。平成28年には倉敷市でG7教育大臣会合が開かれ、倉敷宣言が発表され、その具体化が求められています。一方、世界では、2030年に向け、持続可能な開発目標(SDGs)が合意され、企業などの組織や地域独自の取り組みが始まっています。

申込方法:FAX、Eメールでお申し込みください。 申し込み〆切:3月28日(水)

お名前	ご所属	電話番号・FAX	Email

主催:環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会

協議会ホームページ<http://esd.mizushima-f.or.jp/>

【連絡先】事務局  **公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団)**

〒712-8034 倉敷市水島西栄町13-23 TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620
e-mail:webmaster@mizushima-f.or.jp URL:<http://www.mizushima-f.or.jp>



本シンポジウムは、平成29年度独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金の助成を受けて実施します